

令和5年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ黒星病（No. 12）

令和5年5月17日
鳥取県病害虫防除所

表1 病落葉からの子のう胞子飛散状況（調査地点：鳥取県園芸試験場）

単位：個

月・半月	令和5年	令和4年	平年 (平成28年～令和4年)
3・4*	0	0	—*
3・5	1	0	5.0
3・6	0	7	19.1
4・1	22	0	15.5
4・2	2	0	5.9
4・3	2	305	56.9
4・4	0	2	5.4
4・5	0	59	55.0
4・6	0	62	12.0
5・1	0	0	1.1
5・2	1	1	0.3
5・3	0	1	0.1
5・4		0	0
5・5		0	0
5・6		0	0

注) —は欠測。電動モーターを用いた吸引式胞子採集方法で実施。
* 令和2年から調査を開始したため、平年値は未記載。

表2 果（花）そう基部病斑からの分生子飛散状況
（調査地点：鳥取県園芸試験場）

単位：個/雨水あたり

月・半月	令和5年	令和4年	平年 (平成25年～令和4年)
3・4*	0	0	—*
3・5	0	1.5	1.7
3・6	0.8	5.3	5.3
4・1	4.7	—**	9.2
4・2	9.6	0.3	9.5
4・3	3.6	36.9	10.1
4・4	2.3	—**	6.1
4・5	0	47.1	41.1
4・6	0.3	48.4	19.3
5・1	—**	—**	12.4
5・2	0	2.0	21.1
5・3	32.4	6.2	9.1
5・4		—**	20.0
5・5		10.0	71.9
5・6		75.1	22.0

注) —は欠測。* 令和2年から調査を開始したため、平年値は未記載。平年値は、5年以上の観測値から算出。
**は無降水のため調査未実施。

<情報の内容>

5月第3半月調査結果

- ・病落葉からの子のう胞子の飛散は、認められなかった。
- ・花そう基部からの分生子飛散量は、平年に比べてやや多かった。

<参考>

- ・子のう胞子採集方法
病落葉（前年採集）の上に設置した胞子採集機内にグリセリンゼリーを塗布したスライドガラスを静置（24～72時間）し、スライドガラスに付着した胞子数を調査した。
- ・分生子採集方法
雨滴法（漏斗を罹病した腋花芽の下に設置）により採集した雨滴中の胞子数を降雨日ごとに調査した。